

## 新刊 Book Reviews

□八王子市市史編集専門部会自然部会（編）：八王子市動植物目録 A4. 562 pp. 2016. 八王子市市史編さん室（193-0943 八王子市寺田町 1455-3, 電話 042-666-1511）. ¥1,000（税込）. ISBN no number.

本書は2014年に刊行された『新八王子市史』編纂に関連して行われた、同市における動植物の多様性調査の結果を、目録の形式でまとめたものである。大量の図版やカラー写真を用いて纏められた『新八王子市史』中の‘自然編’と対をなす出版物であり、記述の中心になっているのは収載された種と種内分類群の存在の根拠とした標本データ、文献である。オオトウバナなどの帰化や野化種などのごく一部では標本に代って写真が証拠に採用されている。

八王子市は東京都の旧南多摩郡の大半を占め、世界測地系に準拠して区分されるメッシュ 95 をカバーする。目録の植物（畔上能力、内野秀重、奥田重俊、菱山忠三郎、新井二郎、畔上直樹、小林健人、設楽拓人、堀 清鷹による）の部には、広義のシダ植物は 254 種、種子植物 1963 種、コケ植物 359 種が収載される。きのこ類（松井英幸

による）はこれとは別立て 754 種を掲載する。維管束植物の分類体系および掲載種等の学名は米倉浩司（邑田 仁監修）著『日本維管束植物目録』（2013）に原則拠っている。

先の『新八王子市史』中の‘自然編’と合わせると、これで八王子市域についての近年の標準的な地域植物誌の基礎資料が揃ったといえる。東京都は、全国の都道府県では数少ない植物誌がない府県である。早急にその編纂刊行が望まれるが、未だ実現の見通しすらない。その中での八王子市における生物相多様性調査の取り組みは高く評価されよう。多様性や景観保全の基礎資料となるものであり、また経年変化の調査を含め、多くの活用が期待されるものである。植物を中心に、自らも調査の先頭に立ち、編纂でも中心的な役割を果たされた畔上能力氏の貢献は大きい。加えて宮脇 昭氏と共同で日本のみならず海外の植生研究に貢献された奥田氏、八王子市長池公園園長内野氏ら、恩方を中心に克明な調査をされた菱山氏、その他の大勢の方々の協力の様子が手に取るようにみえてくる。こうした八王子市における植物相、すなわち多様性の調査の結晶である本目録の完成を讃えたい。

（大場秀章 H. OHBA）